

いなみ町

議会だより

No.99
2023.10

令和5年 第3回定例会

議案審議 ……P2～P4
団体紹介 ……P12

一般質問(7名が登壇) ……P5～P11

印南祭り



9月定例会は7日に開会。議案8件、諮問3件、報告1件、発委1件。議案はすべて可決しました。

また、令和4年度決算認定8件は、決算審査特別委員会に付託することを決定し、13日に閉会しました。

損害賠償の額を定めることについて

質疑 公用車の物損事故とのことですが、年間何件の事故がありますか。

答弁 総務課長

今年は駐車するときカーブミラーに当たった等の軽微なものを含めて3件です。

質疑 職員の処分はどのようにされたのですか。

答弁 総務課長

懲罰委員会を開き、本人から詳細を聞き取り、文書による厳重注意処分を行いました。

河川監視カメラ設置業務委託料

質疑 河川監視カメラを設置とありますが、新設ですか。

答弁 総務課長

現在、河川監視カメラは旧庁舎の屋上と切目社教センターに設置にしています。このカメラが経年劣化したため、性能アップするために取り替えます。

質疑 設置完了はいつ頃を予定していますか。

答弁 総務課長

本議案が可決され次第、直ぐに取り組み、できるだけ早く完了したいと考えています。

緊急避難場所整備工事請負費及び用地購入費

質疑 詳細説明を求めます。

答弁 総務課長

当初予算で、約200㎡を取得して避難場所にと考えていましたが、部分的ではなく1筆すべてを取得することになりました。

現状が畑なので、木を切つて碎石を敷くということを考えています。

質疑 単価を説明してください。

答弁 総務課長

8,000円〜1万円程度です。

アピアランスケア支援事業費助成金

質疑 事業の詳細説明を求めます。

答弁 住民福祉課長

がん患者の方で、治療により脱毛や乳房の切除等をされた方を対象に、ウィッグ（カツラ）や人工乳房・乳頭、補整下着の購入費用の助成を行います。上限は、ウィッグは2万円、補整下着は1万円、人工乳房・乳頭は左右各2万円です。

質疑 何件の助成を見込んでいますか。

答弁 住民福祉課長

5件〜7件を見込んでいます。

質疑 周知の方法はどのような方法を考えていますか。

答弁 住民福祉課長

町のホームページや広報誌でのお知らせ以外にも、がん支援を行っている病院に相談してチラシを置かせてもらおうと考えています。

社会体育施設災害復旧 測量設計委託料

質疑 詳細説明を求めます。

答弁 教育課長

今年6月2日の梅雨前線豪雨により若もの広場テニスコート裏山の土砂崩れが発生し、復旧するための委託料です。

印南3店舗スタンプ フリー事業支援補助金

質疑 何度か同事業を行っていますが、その成果を説明してください。

答弁 企画産業課長

この事業は、期間中参加店で、3店舗のスタンプを集めて応募して頂き抽選を行い、景品が当たるといふものです。利用者を含めて商工会でヒアリングを行いました。非常に期待をされている事業です。

令和4年度では、73事業者が参加し、抽選会には約1万75

00件の応募がありました。

防災・減災、国土強靱化等に資する社会資本整備の推進を求める意見書

印南町におきましては、これまで庁舎の高台移転をはじめ、避難道路の整備など国の進める防災・減災、国土強靱化計画に基づきインフラ整備を行ってまいりました。しかしながら通学路の整備や切目橋架替事業、学校統合事業など残事業を多く抱え、5か年加速化対策を推進するために必要な予算確保を強く望むものであります。

また、引き続き国土強靱化を推進するための予算が安定的に別枠で確保されるよう、印南町議会としても国に対し、特段の措置を講じていただきたく、本意見書を提出するものであります。

(内閣総理大臣、衆参議院議長等に意見書を送付しました。)

新議会構成

令和3年の就任から2年が経過し、印南町第17期議会も後期に入りました。新議会の構成を紹介いたします。

令和3年の就任から2年が経過し、印南町第17期議会も後期に入りました。新議会の構成を紹介いたします。

議会運営委員会

委員長 榎本 一平
副委員長 岡本 庄三

木村 栄一・中島 洋
玉置 克彦

議長 堀口 晴生
副議長 前田 憲男

総務産建常任委員会

委員長 木村 栄一
副委員長 谷 章資

岡本 庄三・片山 智文
玉置 克彦・堀口 晴生

議会広報特別委員会

委員長 前田 憲男
副委員長 片山 智文

黒井 美晴・谷 章資
中島 洋・古川 眞

文教厚生常任委員会

委員長 中島 洋
副委員長 古川 眞

杉谷 考祥・黒井 美晴
榎本 一平・前田 憲男

令和4年度決算審査特別委員会

委員長 前田 憲男
副委員長 黒井 美晴

木村 栄一・岡本 庄三
谷 章資・中島 洋
片山 智文・古川 眞
玉置 克彦・榎本 一平
堀口 晴生

議案に対する各議員の賛否

○=賛成 ×=反対

種類	議案番号	議案内容	黒井	木村	岡本	谷	中島	片山	古川	杉谷	玉置	榎本	前田	堀口
条例	42	印南町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	43	印南町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
予算	45	令和5年度印南町一般会計補正予算(第4号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	46	令和5年度印南町国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	47	令和5年度印南町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	48	令和5年度印南町介護保険事業特別会計補正予算(第1号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
他	44	損害賠償の額を定めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	49	教育委員会教育長の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	諮問1	人権擁護委員候補者の推薦について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	諮問2	人権擁護委員候補者の推薦について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	諮問3	人権擁護委員候補者の推薦について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
報告	3	令和4年度財政健全化判断比率及び資金不足比率について	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
発委	1	防災・減災、国土強靱化等に資する社会資本整備の推進を求める意見書の提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

※議長は裁決に加わりません

ここが聞きたい!



前田 憲男 議員

町長の進退を問う

質問 日裏町長は、平成24年初当選以来これまで町民の信頼を得て3期の任期を務められています。

「住みたい、住み続けたい」

「子育て教育の充実」

「強靱で安全 安心」

「思いやりと安らぎ」

「地域産業が輝き賑わい」

の5つの希望を持てる町づくりをキャッチフレーズに様々な政策を進めてこられ、皆さん周知のように数々の実績を上げてこられました。

特にこの3期目におきましては、コロナワクチン集団接種の県下に誇れるほどの素早い対応や他の町の住民もうらやむコロナ対策給付金の支給、また防災福祉センターの建設等、大きな事業を素早い対応でこなされております。

このような政治手腕には、感銘を受けるばかりであります。

今、着手しておられる切目

橋架け替えや中学校統合の事業を是非その政治手腕で完成させていたいただきたいと思えます。

そこでお伺いします。

4期目出馬について日裏町長の考えをお聞かせください

答弁 町長

ただいま過分なる評価いただきましたこと、大変ありがたい思っています。

いろいろと事業を進めることができました。

これが充分であるかどうかというところは、別にいたしましても多くの皆さんのお力添え、ご理解、ご協力のおかげで進めることができた感謝を申し上げます。

来年2月が任期満了の町長選挙への出馬の意向であります。今後、解決しなければならぬ課題もたくさんございます。

そのようなことから、次期

町長選に立候補し、町民に信を問う覚悟を固めたところであります。

本日この場で次期町長選挙に出馬することを正式に表明させていただきます。

質問

ありがとうございます。私のところにも多くの出馬を期待する声が届いています。頑張ります。





ここが聞きたい!

榎本 一平 議員

外来特定指定のクビアカツヤカミキリの対策強化を県に要請を

質問 御坊日高地方のクビアカツヤカミキリの発生状況が7月7日、23日の地方紙に掲載され、県も注意を喚起するビラを配布しました。当町では被害発生者の通報などはありませんか。

答弁 企画産業課

町民からの通報はありません。通報があった場合、発生場所などを速やかに県担当部に報告する体制を取っています。

質問

この外来カミキリが発見されてわずか10年、広範囲に急速に被害が拡がっています。県に対し予算もつけて研究も含め取り組みを強化するよう町から要請をすべきではないですか。

答弁 企画産業課長

県では県内で初めて発見されて「連絡会」を設置しています。「県の取り組みの強化を」という意見は連絡会の中で発言します。

「新西ノ地橋」の安全対策を

質問 住民の方から「切目橋が工事中で新西ノ地橋を利用する人も多いが、周辺が暗いので明るくならないか」との意見をいただきました。

実際、通行すると暗い状況で、車両、自転車、人が多くこの道を利用します。安全を確保するために街灯設置などは必要ないですか。見解を求めます。

答弁 建設課長

「新西ノ地橋」は県が架け替え工事を施工し、先月(8月)から供用を開始しています。

安全な通学路等の確保から、防犯灯を視野に入れて地元と協議し進めていきたいと考えています。

「小災害見舞金制度」の周知とこの間の取り組みを問う

質問 印南町では災害弔慰金の支給等に該当しない災害で被災者に対して災害見舞金を支給する制度があります。御坊日高管内には御坊市と印南町で対応しており、貴重な制度です。この制度を町民の皆さんにはどのように周知し、この制度が始まるからどれほど実行されていますか。

ます。

答弁 住民福祉課長

この制度は平成30年9月、強い勢いの台風が上陸し当町でも被害が出ましたが、災害救助法の範囲にならず、被害があっても見舞金が出ない状況でしたので、この制度を設けました。

罹災証明の発行で災害認定された場合に支給するため、改めて申請する必要はありません。

町民への周知については平成30年10月よりホームページに掲載し、当時の地方紙3紙に情報提供を行いました。

支給件数は平成30年9月の台風による住宅半壊が6件、平成31年3月、住宅火災により全焼したので1件、それ以降は対象案件はありません。



ここが聞きたい!



古川 眞 議員

砂利の浚渫について

質問 切目川下流域の現状を確認していますか。

答弁 建設課長

現在、上流で切目橋の架け替え工事を行っているため、これまでに以上に注視しています。指摘の河川内に土砂が堆積している状況は確認しています。

質問 この状態で川が増水した場合、内水で被害を受ける前に浜が切れるとお考えですか。

答弁 総務課長

これまでも台風や豪雨により切目川が増水し、大浜が切れることで内水被害が軽減されています。

降雨の状況や台風による波の高さにより状況は変わってくるものと考えています。

質問 町は、この状況に対し、何か対策を検討していますか。

答弁 建設課長

切目川の浚渫については、これまで流れを阻害するおそれがある箇所については、地元の見聞きながら切目川の管理者である県に要望を行ってきました。今年度も地元から特に強い要望があった西ノ地橋上流約60mにわたり浚渫を実施したところです。

残りの箇所についても10月以降に引き続き浚渫する計画です。

ご指摘の国道から下流部についても土砂が堆積している状況は把握していますので、引き続き県に要望していきます。

質問

以前にも何度か話していますが、私は、この対策としてマリンパーク前のバイパスの浚渫が必要と感じています。浜が切れなくても、水がバイパスに流れることにより、本流の水位が下がり、地区の内水を川に排出でき、被害が軽減できると思います。

この浚渫は、継続して県に要望してほしい案件ですが、町はどのように考えていますか。

答弁 建設課長

ご指摘のバイパス部分についても、土砂が堆積している状況は把握していますので、地元の見聞きながら引き続き県に要望していきます。

印南地区(地方)の排水ポンプについて

質問 地方地区に排水ポンプが設置されましたが、その効果について教えてください。

答弁 総務課長

6月2日の線状降水帯を伴う

大雨の時は、時間雨量30mmを超える雨が降り、ポンプを稼働しました。

3時間で時間当たり9mmの降雨の状況では、約20cmの水位低下を確認しており効果があったと考えます。

質問 以前にもお聞きしましたが、印南で効果が出ているという事なので、島田市内の元中紀精機裏へのポンプ設置についてはいかがでしょうか。

答弁 総務課長

さらに印南での検証を継続し、その上で島田の地域の方と設置場所の意見をまとめ、検討していきます。





ここが聞きたい!

岡本 庄三 議員

お出かけサポート券について

質問 福祉外出支援として実施している「お出かけサポート券」については、タクシー及びバスの料金の一部を助成し高齢者等の社会参加等に大きな効果を上げています。

また、印南町では、バス路線が限られているため、多くの方はタクシーを利用されていると思いますが、タクシーの初乗り運賃が7月から600円に引き上げられました。

現行サポート券は1枚500円となっており、ワンメータ内の利用には、不便な状況です。そこで、サポート券を1枚600円に改正し更なるサービスの充実、拡大を図ってはいかがですか。

答弁 住民福祉課長
現行制度からの変更は考えておりません。

質問 500円が600円に、その差額100円の予算確保が

出来れば難しい事ではないと思います。サポート券の発行額と決算額ではどれくらい差がありますか。

また、年度途中からのサービス拡大は、困難と思います。来年度から拡大を図ることは可能だと思いますかがですか。

答弁 住民福祉課長
令和4年度の実績は発行者数833名に対し3万3,320枚を発行、利用枚数は1万6,917枚、利用金額は845万8,500円。なので予算的には十分いけますが、バスを使う方もおられてバス利用は1,450枚。印南駅から御坊南海バス停前で今現在540円です。600円券だとお釣りが出ないので、変更の予定はないです。

質問 予算が確保できているんだったら、新年度から500円券じゃなしに100円券を印刷すれば解決できます。

また、印南町においては、タクシー運賃の支払いには現金や金券が主なものと思いますが、今後の世の中の流れは、キャッシュレスやQR決済に移行されるものと考えられます。現時点においては、高齢者等には、なじみが薄いかもかもしれませんが、近い将来のことを考え、QR決済等の利用も検討されてはいかがですか。

答弁 住民福祉課長
100円券にしても、例えば540円であれば40円を出すこととなります。
600円であれば、確かに100円券にすれば済みますが、小銭を出すという事は変わらないのかなと感じております。Q

R決済につきましては、今後、本当に将来の意味で、そういうところがQRであったりとか、ICTのことが進んでいく中では検討課題としてはあるのかもしれないですが、それはもう少し将来のこととして研究をしてみたいと思います。





玉置 克彦 議員

次期町長選出馬について

質問 1期目の日裏町政は、住民目線に立った強靱で安全・安心なまちづくりを柱として、避難道整備等。2期目は若者や子育て世帯を中心とした定住・移住促進施策の一環で課題だった住居確保等。3期目は、希望を

持てる5つのまちづくりを公約の柱として進めている矢先に、新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、感染症対策と支援対策に追われる行政運営。
ワクチン接種を県下でも最速で押し進め、コロナ禍で苦しむ町民や商工業者を手厚く支援するなど精力的に行政を推進しておりますこと、大変敬意を表する次第です。

これから中学校統合事業というビッグプロジェクトが待ち控えております。日裏町長の政治手腕を高く評価するとともに、未来の印南町は決して楽観的ではない状況ですが、4期に向けて、さらなる決意をお願いいたします。

答弁 町長

3期目も残り半年を切ったところでございます。残りの任期を精一杯頑張ることに変わりはありませんが、これから解決しなければならぬ課題も山積みしてございます。

四度次期町長選挙に立候補し、町民に信を問う覚悟を固めたところでございます。皆様の深いご理解とご協力を切にお願い申し上げます。

質問 4期目に向けて希望の持てる、未来に向かって輝きの持てる印南町。安全・安心なまちづくりを実現していただければ、是非とも頑張っていたいただきたいと思えます。

埋め込み式避難誘導灯について

質問 平成17年に沿岸地域、8

地区100箇所に設置され、平成26年には72箇所更新されましたが、今現在、機能してない箇所が何箇所も見受けられます。一度リセットをして設置してはいかがですか。

答弁 総務課長

埋め込み式の避難誘導灯につきましては、地区のご意見も伺いながら必要箇所をいま一度見直し、その避難経路上に適した照明器具の設置を行っております。





ここが聞きたい!

木村 栄一 議員

循環型社会・持続可能なまちづくりの推進について

質問 ごみの量について、平成29年と令和4年を比較すると約50t減少していますが、町としてどのように分析しますか。

答弁 生活環境課長

清掃センターに持ち込まれる町の一般廃棄物の量は減少傾向です。このことは、町民の皆様のごみの減量及び資源の有効活用の意識の向上に加え、人口減少が要因と考えます。

質問 ごみの減量化についてどのような取組をされましたか。

答弁 生活環境課長

平成10年度より地域住民が自主的に実施する資源ごみの集団回収。平成21年度より家庭用生ごみ処理機等購入補助制度。令和2年7月からスタートしたレジ袋の有料化をきっかけにエコバッグ等の有効活用で海洋プラスチックごみ等の削減につなが

ることを、広報誌や印南町ホームページで広報しています。

質問 今後さらにごみの減量化を進める上で、例えば、5年後何%減らすなど、目標値の設定を検討する考えはありますか。

答弁 生活環境課長

清掃センターの構成市町で、一般廃棄物処理基本計画を立てて目標値を設定しています。ただ、家庭系と事業系別については、ごみの量の正確な分別が困難なところがあるので、清掃センター等に詳しく聞いた上で検討していきたいです。

質問 家庭用生ごみ処理機等購入費補助金6万円について、過去5年間で何件の利用がありましたか。

答弁 生活環境課長

過去5年の実績は14件。内訳

として、生ごみ処理機8件。コンポスト6件です。

質問 この件数についてどうお考えですか。

答弁 生活環境課長

平成21年度49件（生ごみ処理機42件コンポスト7件）、平成22年度10件、23年度3件。最初の年で、必要とされる方が一巡したと考えます。

質問 ペットボトルの回収について、印南町に回収容器設置場所が30カ所（学校を除く）あり他市町より多く設置されているが、回収場所の広報はどのように行っているか。

答弁 生活環境課長

50音別のごみ分別リストという冊子と印南町のホームページに掲載しています。

質問 まだ知らない人もいるかと思

いますので、広報の仕方を検討いただけますか。

答弁 生活環境課長

「広報いなみ」等で検討していきたいです。

質問 循環型社会の実現に不可欠である「3R・リデュース、リユース、リサイクル」の広報はどのようになっていますか。

答弁 生活環境課長

「広報いなみ」、印南町ホームページ、50音別ゴミ分別リスト等で広報しています。

質問 このことは大変重要なことですので、広報の工夫を今後

もお願ひしたいです。





黒井 美晴 議員

タブレット授業の拡大推進について

質問 新聞4大紙の一つに「学校でのタブレット授業(活用)に地域差がある」。内容は「ほぼ毎日使用している」小学校の割合を47都道府県別に比較されていま

した。非常に驚きました。和歌山県は42番目と、トップの山口県の78.3%と、40ポイントの開きがあり、非常に低いのだと痛感いたしました。

印南町における同視点でのタブレット授業使用割合は、和歌山県の38%より高いですか。

答弁 教育長

和歌山県38%、全国58.2%、印南町は75%であります。全国で高い山口県と同等で、県より40%高くトップの層に位置していると考えております。

質問

教育委員会として75%で満足はされておりますか。

答弁 教育長

校長ヒアリングや、校長会で

も100%を目指す、指導を行うとともに、方針も同様です。

質問

タブレットは、文部科学省の目指す探究的な学びに有効な道具として機能すると言われております。思考力や判断力、発表等による表現力といった社会で求められるスキルを身につけるプロセスそのものであると考えます。いかがですか。

答弁 教育長

子どもたちには自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、自ら判断して行動し、よりよい社会や人生を切り開いていく力が求められています。

思考力、判断力、表現力等はこれから生きる上で大変重要な力であると考えております。

ツールとして、教育用端末を有効活用していただけるよう、これからも学校を支援、指導してまいります。

農地等災害復旧支援事業について

質問

去る6月2日の大雨で農地などに流入した土砂の撤去費用など補助する「農地等災害復旧支援事業」の恒久的な実施は考えていませんか。

最近では、大雨・台風の大型化が尋常ではなく、その都度、災害が発生しています。是非、考えて頂きたい。

答弁 企画産業課長

今回の大雨では、町内各地で農地等への土砂流入が見られたため、速やかな営農再開を支援すべく本事業を実施したもので

ございます。

しかしながら、農地災害に対する復旧については、基本的に国等の事業を活用することを前提に考えております。

したがって、町単独事業となる農地等災害復旧支援事業について、現在のところ恒久的な事業として実施する予定はありません。

今回のように災害発生状況や規模等をその都度判断しながら、適正な施策を実施していきたいと考えています。

質問

個人の財産を守る・安心した生活のため、恒久的につくって頂きたいと思えます。



団体紹介

印南を元気にしよら 盆踊り推進会



印南を元気にしよら盆踊り推進会」は、商工会(中村泰介)、観光協会(石橋幸四郎)、社会福祉協議会(岡本徹士)、文協・歴史文化(坂下緋美)、文協サークル

の会(宮本浩子)の協賛団体が平成18年から推進している。加えて、丸田大雅の碑がある東光寺(嶋田隆道)が協力。

※()内は代表者

また、教育委員会や町も、当初から、協力体制である。

当初は、印南音頭の踊り等を指導する関係で、文化協会主催で推進してきたが、現在は、協賛団体が一体になり推進している。

令和五年度の代表は商工会の中村泰介氏。

印南町出身の音楽家、丸田大雅作の「印南音頭」は、戦前は、県の民謡になっていたと言われるほど名曲であり、

後世に伝える意味でも、大事に取り組んでいる。

元々は、旧印南中心の歌詞であったが、今年は、真妻、切目川、稲原、切目各地区の関連歌詞を盛り込み、地元民の三味線と、地元民の歌手が唄った「印南音頭」に、印南祭の太鼓の音を加えての試みは、素朴で大好評であった。

コロナ禍を越えて、体育館で四年ぶりの開催に華を添える形となり、よかった。

「印南を元気にしよら盆踊り推進会」のスローガン通り、踊る人が、みんなが笑顔になることを目指している。

また、最近、盆踊りは、災害時など絆づくりの一端として、全国でも注目されている。協賛団体でも、次年度に備え、各地区に踊りの出張指導も予定している。



掲載団体募集のお知らせ

裏表紙で紹介する町内の団体を募集しています。掲載を希望する団体は議会広報特別委員会までご連絡をお願いします。

議会広報特別委員会

■委員長 前田 憲男 ■副委員長 片山 智文
■委員 黒井 美晴 / 谷 章資 / 中島 洋 / 古川 眞